

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

平成15年度から退院促進モデル事業に取り組み、長年取り組みを継続する中で、地域移行を推進する基盤、顔の見える関係が構築できている。

課題	課題に解決に向けた取組状況		取組の成果
①平成23年度以降、ピアサポーターの養成研修が行えていない。	次年度に向けて、現在予算要求を行っている。		次年度実施予定。
②「退院可能者への地域支援者訪問」の対象者数が、市町村により偏りがある。そのため、対象者が少ない市町村ではスキルが身につかない恐れがある。	協議の場で、実際に対応している市町村から取組の経過やポイントを情報提供して頂いた。		・対象者がいない市町村においても、対応の実際について、イメージを持ってもらえた。 ・また、実際に対応している市町村においても、対応のヒントが得られたよう。
③「退院可能者への地域支援者訪問」事業のさらなる浸透と定着を目指す。	継続実施。 協議の場で進捗状況において、状況の共有を図っている。		今年度で2年目となり、市町村が主体となって取組めており、徐々に浸透してきている。
課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①協議の場で次年度の養成に向けた検討を行う。			達成でき、次年度に向けて予算要求中。
②協議の場で、実際に支援を行った市町村から、支援の経過を話してもらう。			達成でき、市町村のスキルアップに繋がった。
③退院率(3・6・12ヶ月) 長期入院患者数		3M: 65.7 6M: 81.2 12M: 87.4 346人以下(R2年度末)	令和元年度の実績値が出ていないため、評価できず。(630調査の結果がでていない)

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。